

尖閣諸島における植生図更新について

1. 背景

尖閣諸島の魚釣島（約 381ha (3.81 km²)) については、2015 年に 1/1.5 万程度の縮尺の植生図が作成されており、2021 年に更新を行った。

2. 手法

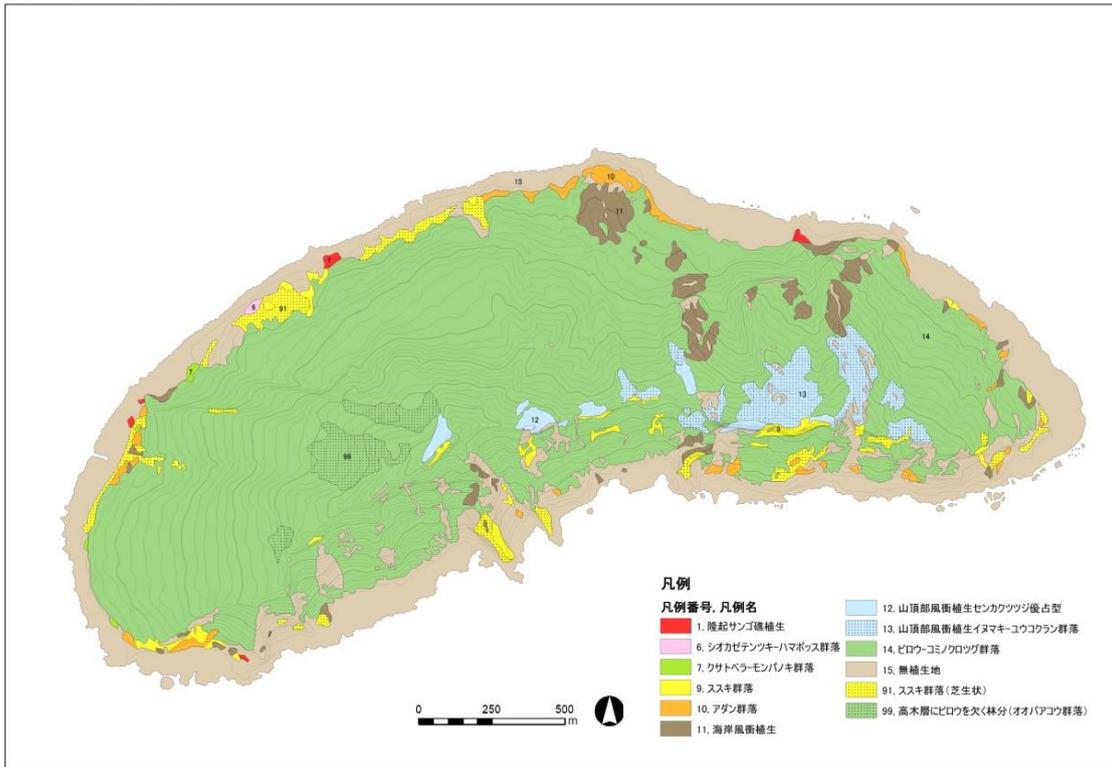
2015 年作成の植生図に用いられた衛星画像（2014 年撮影）と同程度の地上解像度（0.5m）であり、かつ、最も比較に適した、できるだけ雲のかからない衛星画像として、2019 年撮影の衛星画像を調達。調達した衛星画像をもとに、植生図を作成した。

3. 参考比較

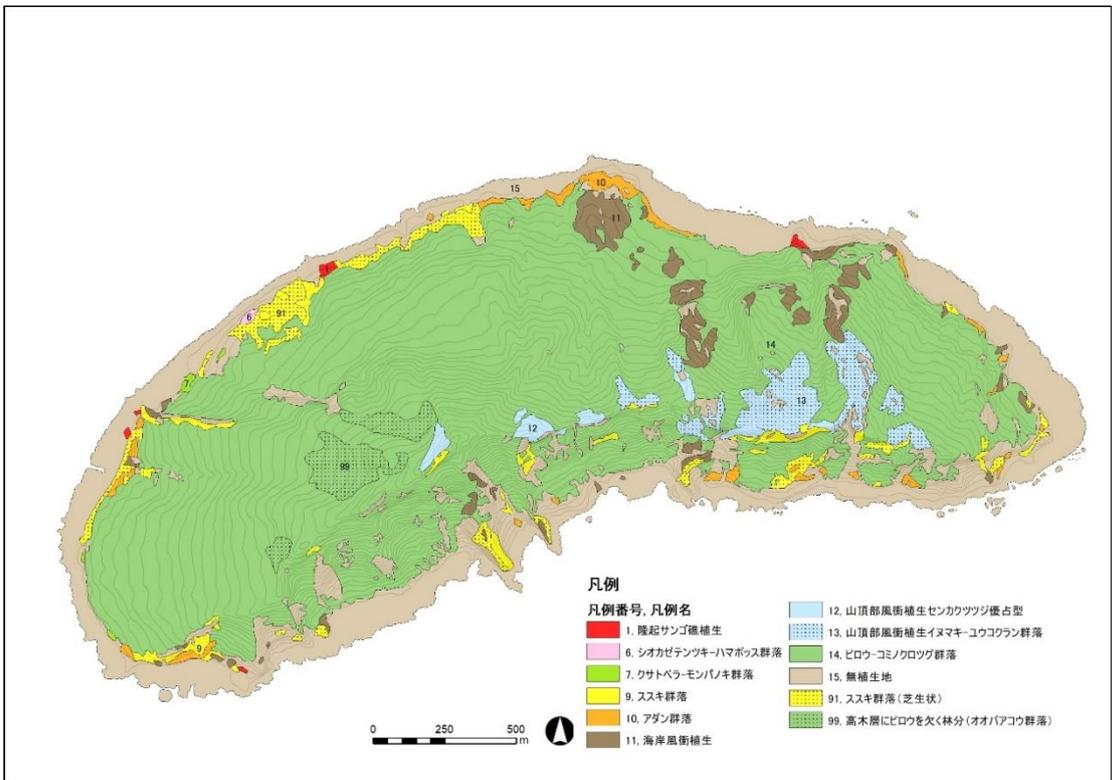
なお、2015 年作成時と同じ植生タイプ（凡例）について面積を算出し、変化状況の比較を行った。2015 年作成の植生図と比較することにより、面積比較を試みたところ、各植生タイプの状況について、大きな変化は確認されなかった。

※1 植生タイプの変化（面積の増減）が見られたのは、魚釣島（約 381ha）の約 1.7% にあたる約 6.6ha であった。面積増が見られたのは「クサトベラ-モンパノキ群落」、「ススキ群落」等であった。逆に面積減が見られたのは、「海岸風衝植生」、「ビロウ-コメノクログ群落」等であった。

※2 全島的にみれば無植生地は約 0.5%（約 2ha）の微増であったが、2014 年撮影の衛星画像では山影の無植生地が抽出されていない可能性もある。



(上) 2015年作成の魚釣島の植生図 (2014年画像を利用)



(下) 2021年に作成された魚釣島の植生図 (2019年画像を利用)

表 2015 年および 2021 年に作成された植生図の面積比較（単位：ha）

凡例番号	凡例名	2015 年	2021 年
1	隆起サンゴ礁植生	0.52	0.52
6	シオカゼテンツキ-ハマボッス群落	0.19	0.19
7	クサトベラ-モンパノキ群落	0.31	0.36
9	ススキ群落	4.40	5.02
10	アダン群落	4.37	4.39
11	海岸風衝植生	10.78	10.63
12	山頂部風衝植生センカクツツジ優占型	3.21	3.14
13	山頂部風衝植生イヌマキ-ユウコ克蘭群落	11.02	11.02
14	ビロウ-コミノクロツグ群落	241.18	237.95
15	無植生地	89.83	91.81
91	ススキ群落（芝生状）	8.12	8.90
99	高木層にビロウを欠く林分（オオバアコウ群落）	7.22	7.22
合計		381.16	381.16